

12月定例会が12月5日から20日までの16日間の日程で開催されました。提案された報告2件、議案24件、その他4件は、原案のとおり可決し、議案1件は、修正案のとおり可決いたしました。

12月定例会 ここに注目!

注目①

議会が市長提呈予算案を修正



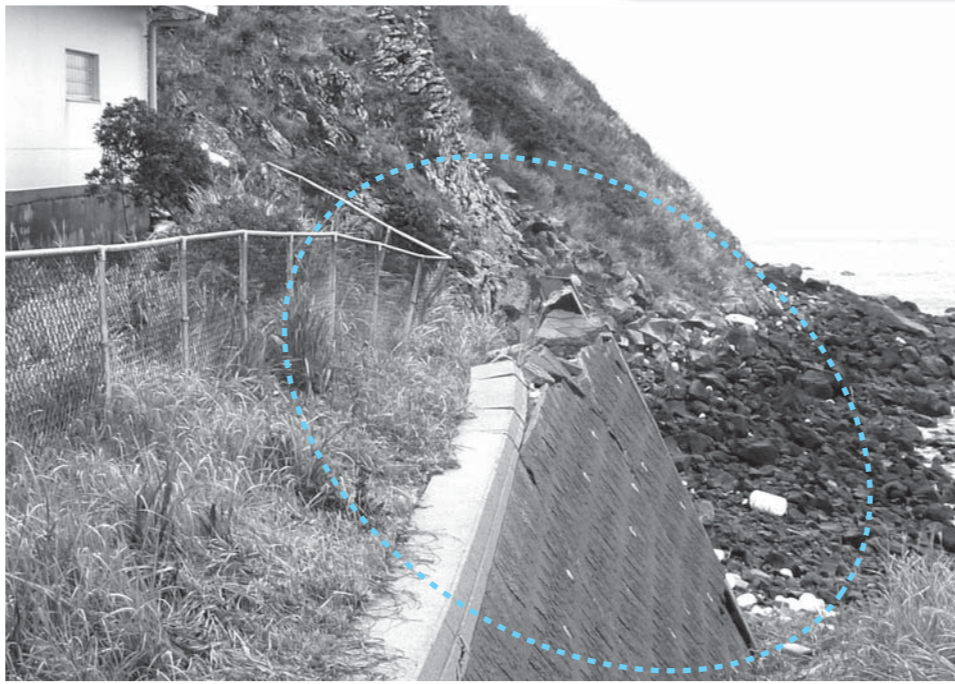
**レストハウス改修計画
ゼロベースにもどし検討を!**
市民の声聞いて透明性を
コンセプトを市民や議会に示すように

レストハウス改修にかかる設計委託料1500万円について、補正予算案から削除する修正案を産業建設委員会において、全会一致で可決した。
本会議（議案審議）においても、全会一致で修正可決された。

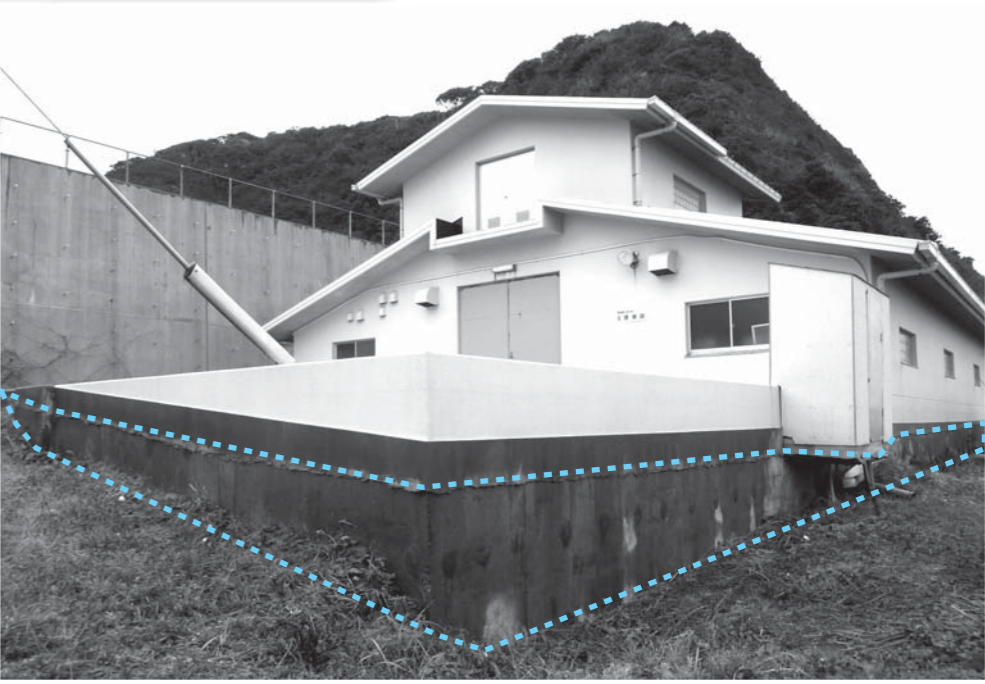
レストハウスは、施設の老朽化に伴い、全国放送のテレビ番組企画で、テレビ放映を前提とした改修計画が進められていたが、番組が終了し、テレビ放映が中止となった。今後の既存施設のあり方は、さまざまな角度から改めて施設の必要性を含め検討すべきであり、設計に係る経費は、直ちに必要な経費としては認められないと判断された。

生月町最終処分場災害復旧事業

注目②



▲地すべりした部分（点線内）



▲陥没した部分（点線内）

生月町最終処分場災害復旧事業は、昨年6月の豪雨の影響により、被災した水処理施設用地および地すべりしたブロックの復旧を行う。

Q 被災箇所の損傷が激しく、このような状態になるまで対応しなかったのは管理不足ではなかったのか、もう少し早く本格的な調査等の対応をしていれば、ここまで影響はなかったのではないかと考える。

A 生月最終処分場は、全体が軟弱な土地であるため、これまでに、擁壁のずれや盛土部分の若干の沈下等があったものの、応急処置で済ませていた。

Q 水処理施設に影響が出ないのか。

A 水処理施設は岩着で杭を打っているため、今回の災害による影響はないと考える。

Q 災害復旧工事の規模および今後の見通しについては。

A ブロック積工225㎡、法面工190㎡が主なもの、今年度に調査・設計を行い、平成29年度に災害復旧工事を行う予定である。

また、今後も新たなリスクが発生する可能性があるため、地質調査後に必要な対策を行う。